

ノラ猫(飼い主のいない猫)について ～人と猫との調和のとれたまちづくり～

ノラ猫(飼い主のいない猫)を、かわいそうだと思う人がいる一方で、ふん尿や鳴き声などにより迷惑と思っている方がおり、地域のトラブルとなってしまうことがあります。

実は、『動物の愛護及び管理に関する法律』等の定めにより、ノラ猫を強制的に排除することは、とても困難です。

そのため、ノラ猫は「**地域猫活動**」として、大きな地域問題になる前に、地域住民、自治会、ボランティアなど地域と市が協働でルールを整理し、増える原因を解決・改善する必要があります。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

地域猫活動

地域内にいるノラ猫の問題を、
地域住民・問題解決に取り組むボランティア・行政（市役所）の
三者が協力しあって解決を目指すことにより、
人と猫とが共生する地域づくりをしていく…という考え方です。

具体的には、猫のトイレ、エサ、繁殖などを地域で適正に管理することにより、
飼い主のいない猫によるトラブルを減らし、地域の環境を改善していく活動です。

◇◆◇地域猫活動のルール◇◆◇

(1) 地域の問題として、皆で考えましょう

ノラ猫の問題は、地域の環境問題です。

猫が好きな方と嫌いな方、どちらも不幸な猫を減らしたいという目的は同じです。
地域内の解決に向けて、できるだけ多くの立場の関係者が共に考えていくことが大切です。



(2) エサやりのマナーを守りましょう

責任あるエサやりは、『エサ場を決め』、周辺の清潔が保たれるよう、管理しているネコへ、『毎日同じ時間』に、『適切な量を与え』、食べ終わったら『その場で片付ける』ことです（エサ場周辺の清掃もします）。

(3) 猫のトイレをつくりましょう

地域の環境悪化となる ふん尿 の被害を減らすため、適切な場所にトイレを設置し、管理します。

(4) これ以上、子猫が生まれないよう、避妊・去勢手術を行いましょう

猫の繁殖力はとても強く、避妊手術をせずに野放しにした場合、爆発的に増えてしまいます。そのため、地域のすべての飼い主のいない猫に避妊・去勢手術を行うことで、今後増えることなく、その猫の寿命により、だんだんと数が減っていくことになります。なお、手術済の猫は、耳がV字にカットされております。

ネコ算・・・！？

屋外にいる猫は、1回の交尾で100%妊娠します。年2～3回出産し、1回に4～5匹産みます。いったん地域で猫が生まれると、1年後には、地域は猫だらけになってしまいます。例えば…年3回の出産で4匹ずつ産み、半数がメスだとすると1年後には…38匹になってしまいます。

ノラ猫問題 どうにか ならないの…？

元々、ノラ猫は、
人が飼育放棄した命…
エサをあげなきゃかわいそう

猫のフンや泣き声で迷惑している
エサをあげるから集まるんだ
エサやり禁止

トラブル

“エサやり”をしなければ ノラ猫は減る？？？

エサやりを止めても、猫は本能的に生きようと エサを求めて動き回ります。

最終的には、エサを探しに近隣地域に移動しますが、

結局、ノラ猫を近隣地域で押し付けあっているだけで、問題の解決にはなりません。

そして、移動先で確実に繁殖し続け、そのうちの何匹かは戻ってきます。

地域（住民）の力で 被害を減らし 解決しましょう！！

～ノラ猫から地域猫へ～

☆地域猫活動のルール（裏面参照）を決めましょう☆

※ 地域での話し合いには、必要があれば市の担当者も同席いたします。

☆長い目をもって、地域で問題解決を図りましょう☆

※ 屋外で暮らす飼い主のいない猫の生活環境は、感染症や交通事故の危険など過酷なものであり、その寿命は、4～5年といわれています。

多摩市は、地域猫活動の取り組みを支援します

- ① 避妊・去勢手術費用の助成〔メス 9,900円 オス 4,900円〕
- ② ネコ捕獲用の専用ゲージの貸し出し〔無料〕
- ③ 自治会等の説明、調整会出席
- ④ 活動のアドバイス

【お問合せ：環境政策課 042-338-6952】